

まえがき

財団法人あしたの日本を創る協会では、子育て支援に取り組む地域活動を全国的に広めるために、独立行政法人福祉医療機構から助成を受け、子育て支援に取り組んでいる先進的な活動事例の調査を行うとともに、「子育て支援に取り組む地域活動推進シンポジウム」を、福島県郡山市、横浜市港北区、岐阜県可児市、滋賀県草津市、熊本県御船町の全国5カ所で開きました。この報告書は活動事例調査とシンポジウムの記録をまとめたものです。

この活動事例調査報告書の作成に当たっては、企画委員会（委員長・石井久雄明治学院大学助教授）のみなさんに活動事例の選定から調査、執筆、編集をお願いし、忙しい中、事例調査に東奔西走していただきました。またシンポジウムの報告もお願いしました。ひとえに企画委員のご尽力で、報告書としてまとめることができました。お礼申し上げます。

また事例調査で訪れた先々では、子育てを少しでも手助けしたいとの篤い思いをもって、活動されている元気な人たちに接することができ、活動に対する思いの数々と示唆に富んだお話を伺うことができました。事例調査でご協力いただきましたみなさんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

ここで取り上げた事例の中で「千代しゃくなげの会・千代保育園」（長野県飯田市）は、廃園を余儀なくされた保育園を住民が力を合わせて経営を引き受け、地域ぐるみで運営している保育園です。「NPO法人子育てサポートセンター『きらきらくらぶ』」（福井県敦賀市）は、早くから子育て支援活動に取り組み、未就園児保育、つどいのひろば、子育て講習会など幅広く手がけ、地域の子育て支援活動をリードしている団体です。「まちひとぶら座 かんかこかん」（岐阜県高山市）は、これまでの市民活動で培ったコーディネート力を活かして、空き店舗に誰もが立ち寄れる「まちの縁側」を作り、そこを会場に「こどもひろば」を開いています。

「片浜地区社会福祉協議会」（静岡県沼津市）も、中学生によるベビーシッター・ボランティアや小学校参観日に中学生が託児ボランティアする「アタック・ルーム」などのアイデアを次々と企画し、学校と地域をつなぐさまざまな活動をしています。「石神井台児童館」（東京都練馬区）は、困難を抱えながら子育てをしている家庭が多い1人親家庭の交流会を開いています。

活動事例は、「つなぐ支援」を1つのテーマに、子育て支援に多様な人々が関わって事例を取り上げています。この冊子が、地域において地域住民や地域団体が子育て支援に取り組む活動の参考にさせていただければ幸いです。

なお企画委員は下記のみなさんをお願いしました。

子育て支援に取り組む地域活動推進シンポジウム等企画委員会

委員長 石井 久雄・明治学院大学助教授

委員 角替 弘規・桐蔭横浜大学助教授

委員 渡辺 恵 ・明治学院大学非常勤講師

委員 遠藤 宏美・明治学院大学非常勤講師

委員 丹治 恭子・筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科

委員 相良 亜希・筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科

平成19年3月

財団法人あしたの日本を創る協会